

## 第1回佐貫地区説明会会議録

1. 日時 平成29年2月6日（月）19：00開始

2. 会場 佐貫コミュニティセンター

3. 教育部参加者

小泉副市長、岡根教育長、能城部長、今井学校教育課長、鶴岡教育総務課長、竹谷教育センター所長、須藤学校教育課主幹、鈴木教育センター主幹、三浦学校教育課指導主事、財前教育センター指導主事、大畑教育センター指導主事、刈込教育総務課課長補佐、福原教育総務課主任主事

4. 保護者参加者 67名

5. 会議録

進行：鈴木教育センター主幹

発言者	発言内容
	1 開会の言葉
	2 出席者紹介
岡根教育長	3 教育委員会あいさつ
須藤主幹	4 富津市小・中学校再配置計画（案）についての説明
	5. 質疑
岡根教育長	富津市人口ビジョン2040では、2040年の富津市の予想人口を30,746人としている。市は、目標を34,111人と定め、人口減少を食い止めようとしている。
保護者	質問したら変わるのか。市の計画が変わるのか。 計画ありきの流れになっている。この計画が素案としてでたが、地元がダメだと言ったときはどうなるのか。教育委員会、一般行政のやり方が違っている。富津市全体の構想・地域をどう育てていくのか、どう考えているのか。ガス抜きなのか。
岡根教育長	子どもの数からいって、改善することを考える再配置計画案がよいと思っている。決してガス抜きをしているわけではない。その中で私共の望ましい環境を作りたいと思ってこの案を出しているので意見を聞きたい。も

	<p>っと良い案があれば言ってほしい。市長が描く子どもたちの環境は、行政と教育委員会ですり合わせをしている。誰のために計画をしているのかを考えてやっているということを認識していただきたい。全ては子どもたちのためである。</p>
保護者	<p>立場が違う。富津市の人口減っているからといって、地区が反対したら変更になりうるのか、はっきり説明してほしい。</p>
岡根教育長	<p>○か×ではなくて、意見をいただきたい。大規模の学校をつくりたいのではなく、適正の規模の学校をつくりたい。子どもたちの教育環境をよりよくするための案をいただきたい。</p>
保護者	<p>地域と子どもの関わりをどう考えているのか。歩道がない。子どもたちの安全をどう考えているのか。富津市をどう変えていこうと考えているのか。</p>
岡根教育長	<p>佐貫は地域がしっかりしている。学校がなくなってもその素材はなくならないと思う。会った時にどれだけ声を掛けていくか。私もそう生きていきたい。安全面は、予算要求していきたい。</p>
保護者	<p>富津市は、安全を考えていない。 議員は一般市民の安全を考えることが仕事なのに、ペンキを塗っただけ。大貫に行く所の踏切のカーブに車が突っ込んでいる。湊の御代原の道路を直したけど知っているか。学校を使わなくなったら、柵をして使えない。学校の跡地の道路を直す気があるのか。</p>
鶴岡課長	<p>道路は、現状の危険箇所を点検している。母女の会から通学路要望を毎年受けて対応している。県道・市道を通学している子もいる。行政として市長も県へ行ってお願いしている。全部が全部すぐにやればいいのだけれど、全てはすぐにはやれない。市長も安全安心の子育てを言っている。</p>
保護者	<p>グリーンベルトを市は認めているのか。</p>
保護者	<p>県の要望なのか、市の要望なのか。この計画は県か市のどっちから。もし学校がなくなったら、もっと人口が減るが、市は食い止めてない。年寄りしかいない。富津市は何人までいったら統合か。</p>
今井課長	<p>複式学級を解消することが基本。1年と2年で8人を超えないと複式となる。2年生から6年生で、2学年16人以内だと複式となる。</p>

保護者	天神山小・湊小は自力でいけるのでは。
今井課長	資料の10ページにあるように、平成28年は、天神山小の1、2年は複式になっている。3年は6人、4年は8人で複式。5年は8人、6年は8人で複式。天神山小・竹岡小・金谷小は複式である。
保護者	佐貫は、いい所に小学校と中学校がある。でも学校がなくなる、避難するところがなくなる。
保護者	バスはどうするのか。
須藤主幹	部活に合わせた運行を考えている。
保護者	安全面、県と相談できるのか。
鶴岡課長	危ない所は、警察からも県に話がいつている。スクールバスが走る時に要望もしていく。歩道は用地整備、生活道路はなかなか意見が言えない。通学路については、通学路安全対策協議会で各関係機関が協議しながら進めている。通学路になれば要望していく。
保護者	学校の跡地はどうするのか。
鶴岡課長	所有者が管理。跡地利用は庁内で学校の今後の利用の話し合いが始まる。まずは、公共利用できるか検討し、その場合は市で管理する。その次は、民間へと考えている。
保護者	3、4年で道ができるのか。合併できるのか。道もできてないのに。すぐ動かなきゃいけない。案でできるのか。市と民の認識がずれているのではないか。
今井課長	もっと早く提案すれば、そうかもしれない。スクールバスを通すことが危険であれば通せない。でも、安全を確保しながら進めていきたい。待っていれば待っているほど、子どもたちの今の状態は進んでいってしまう。9年間、この人数でいってしまうのではと考える。
保護者	少人数だからだめということはない。少なくても悪かったということはない。競争心がなかったことはない。佐貫はよい環境だと思う。平成21年から出ているというのが市民は全く知らない。今知った。学校がなくなるのは、すごく寂しいことである。反対である。誰も住もうと思わない。

保護者	金谷は、反対と聞いている。みんなで反対ならば反対を通せばよいと思う。将来を見据えて、小中のご父兄で考えるとよい。佐貫地区で意見を戦わせて、早めに教育委員会に意見を持っていく。天羽中を建て替えるなら、初めから1つの中学校という案もある。
岡根教育長	この案に対して、こんな意見はどうだと提案してほしい。
保護者	この計画が平成16年から始まったことを初めて知った。その内容はどのような形で市民に知らせたのか。
今井課長	パブリックコメントとして市民から意見をもらった。
保護者	どうやって市民に伝えたのか。検討委員会の話し合いの内容は、その都度、市民に伝えてほしい。
岡根教育長	今回も保護者の意見等、回答を伝えたが、これからもそうしていきたい。環南小と関豊小が統合された時、子どもたちのことを考えて合併した。PTAの皆さん、中学校があるのとないのと、メリット・デメリットをよく考えてもらいたい。PTAの方が中学校のことや子どもたちのことをよく考えて検討してほしい。みんなで意見を出し合うことがよい。議論していくことがよい。
保護者	30年前から統廃合の話が出ては消えが続けていた。佐貫が大貫にいつちゃった後どうするかビジョンがあるのか。
小泉副市長	人がいて、地域が安定しているか。それは、また違うのかと思う。地域として佐貫はしっかりしている。市がどうしろではないと思う。地域がどうしたいか。そのバックアップを市がするのがよいと思っている。防災についても市が守ってくれるのではということになる。市の職員がすぐ守りには来られない。まずは、自分の身を守る。隣の人を助ける。まずは、地域で守り合う。絆をつくってほしい。佐貫はそれができるところだと思う。そういう意味で愛着を持って暮らしてもらいたい。
保護者	佐貫に愛着を持っている。富津市のビジョンを知って移り住む人もいる。佐貫の歴史にあったアナウンスをしていかないといけない。
保護者	市政にお礼、こんな小さな町のために資料もつくり、皆さんで来てくださり感謝する。

保護者	個別の計画はいつできるのか。
今井課長	来年度、再配置推進室をつくり、情報を提供していく。全体像は9月以降に示していく。
保護者	佐貫中の生徒に説明会しているのか。何名くらい賛成しているのか。
今井課長	児童・生徒には説明していない。義務教育なので保護者の考えを優先して考えてこのような説明会を行っている。
保護者	早く子どもたちにアナウンスしてほしい。
今井課長	事前に交流を行うので、その目的を明らかにしながらやっていきたい。
保護者	陸上大会、大貫と昔はやっていた。今は、君津市と富津市が陸上競技場でやっている。ありきじゃないですよ。まだまだ、この案が一人歩きしている訳じゃないのですよね。
保護者	大きな学校で育ったが、少ない佐貫中も成功体験ができる。地域のよさがあると思う。スケジュールがあるが、何をもって合意するのか。子どもを第一に考えたい。全てに反対しているわけではない。佐貫の学力は、実際どうですか。大貫はどうですか。
今井課長	学校で比べるものではない。大きくても小さくても良い子も悪い子もいる。教科によってどちらの学校が良かったり悪かったりもある。
保護者	地域の住民が話し合って1つの意見を出すとよい。
保護者	スクールバスを使ったとき、福祉バスを一緒にすることも考えられる。
今井課長	スクールバスは無料。回数に関係なく無料。全員対応したい。
保護者	地域の特色を市が支える。地域が潤うようにしてほしい。
保護者	前回出席した人の回答は、来ていない人はどうするのか。議事録はないのか。
今井課長	今後、Q&Aで皆さんに知らせていく。2月下旬～3月上旬になると思う。

保護者	この短い期間で本当に進んでしまうのか。
岡根教育長	このような教育環境がよいと思って提案をしている。皆さんがもっと良い意見を出していただけたら、それをもってまた検討していきたい。みんなが○か×とは考えていない。
保護者	特別支援学級のことも大切にしてほしい。就職できない、進学できない心配がある。この計画には、支援級の子のことは書かれていない。ファミリーサポーターをやっている。少ないところも見ていただきたい。
今井課長	わかりました。
保護者	統廃合・統合・合併、いろいろな言葉が出てくる。佐貫がなくなってしまふ。佐貫の良いところがなくなるのではないか。吸収されてしまうのか。一緒になって新しい学校ができるのか。市の考えはどうなのか。
今井課長	統合という考えで進めていきたい。個別の計画を立てた上で協議をしていく。諸事務の中で考えていきたい。
保護者	地域のアンケートはないのか。
今井課長	現状は、保護者のみでやっている。地域のアンケート調査は行わない。
保護者	小中アンケートは終わっている。公表はするのか。新しくするならば、大貫中閉校、佐貫中閉校となるべき。そう説明を聞いていると思う。表現の仕方をよく気をつけてほしい。1から決めていますというのが望ましい。
今井課長	アンケートの結果も伝えていく。全体・個の方も伝えていく。保護者・学校が中心となって考えていくことにする。
保護者	合意は私たちがやるのですか。
今井課長	役員の方と日程を相談して、合意の場をもつ予定である。
保護者	転校・移動してきたことがいじめにもなる。よそ者っていうのは避けたい。丁寧にやってもらいたい。
保護者	小中一貫はできないのか。佐貫はそれができないの。

今井課長	少ない人数で9ヵ年の一貫は考えてはいない。  6. 閉会の言葉
------	---------------------------------------